

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和5年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
えびの市	水道事業	—	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

当市では、健全な経営を目的として包括的民間委託を行っている先進地視察、九州圏内で受託を請負っている3者から見積りの徴取など、平成25年度及び平成26年度にかけて検証を実施した。その検証により、緊急災害時の対応を含め現行の職員との比較を行い、費用対効果や職員の減員によるスケールメリットが見込めないとの結果に至った。これらのことから、当市のような小規模事業者では、現行の体制を維持すること以外で、対処方法がない状況である。包括的民間委託にて、緊急災害時の対応を含め費用対効果などのスケールメリットが見込める状況が生まれれば、経営改革の一貫として再度検討して行く。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和5年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
えびの市	病院事業	—	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

当院における経営に係る中長期的な視点としては、令和2年度までを計画期間とした、えびの市立病院改革プランにおいて、地域医療確保の観点から公立病院として担うべき役割を明確にし、病床機能分化による効率的な医療提供体制の構築を図りつつ、本市の中核病院として継続して市民ニーズに沿った医療サービスの提供や救急医療の確保ができるよう、安定した経営を目指すことを示し、当該プランに沿った経営を行ってきたところである。

また、当該プランでは、事業の統廃合や民間委託等の手段ではなく、現行の経営体制・手法により、今後の本市の地域医療に必要とされる医療機能や、安定した収支状況に繋がる経営上の改善を推し量ることにより、医療・介護・福祉等の地域医療連携を行う中心的役割を果たし、当院の持続性を図っていくこととしており、地域包括ケア病床の導入並びに病床機能転換を達成し、当該プランに沿った経営体制を築いてきたところである。

しかしながら、依然として医師確保の課題、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、医業収支の改善については、依然として厳しい状況にある。

今後については、「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を踏まえた、「公立病院経営強化プラン」を令和5年度に策定することとしており、その中で西諸三公立病院の連携等による効率的な病院経営も視野に入れつつ、本市の中核を担う公立病院としての役割を果たすべく、将来にわたった持続可能な医療サービス提供体制の構築を図るため、本市及び近隣市町の人口動態や医療需要等の調査を行ったうえで、病院規模や経営形態の検討を行うことにより、より良い経営体制の構築に向け取り組んでいく考えである。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和5年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
えびの市	宅地造成事業	その他造成	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

本会計は公営企業会計における産業団地整備に特化した特別会計であり、財源は地方債、繰入金、補助金を主として整備したものである。造成完了後は土地売却収入をもって地方債の償還に充て、償還終了後は本会計を廃止する予定としているため、当面は現行の経営体制及び経営手法を継続するものである。